

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

## アブラハムへの

かみ

## 神さまのやくそく



ぶん  
文: Edward Hughes

え  
絵: Byron Unger; Lazarus

かいさくしゃ  
改作者: M. Maillot; Tammy S.

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ  
出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2007 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし また  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、  
きよか  
許可されています。





なが とき  
大こうずいのあと、いつのまにか長い時  
けいかく  
がすぎました。人々は、ある計画を  
おも  
思いつきましたよ。



「そうだ、みんなで天までとどくような高い  
高いとうのあるすばらしい町をつくろうでは  
ないか。」「いつも、みんなでいっしょにく  
らしていこうよ。」その時はね、人々は  
みんな同じことばを話していました。



かみ ひとびと かみ せかいじゅう す  
神さまは、人々が神さまのつくられた世界中のいろいろなところに住んでほし

おも なに  
いなんて思われました。そこで、また何かとくべつなことを  
なさいましたよ。とつぜん、人々が、それぞれにちがうこ  
はな だ かみ あたら  
とばを、話し出したのです。神さまは、みんなに新しい  
あた  
ことばを、与えられたのです。



おな はな ひと ち  
同じことばを話す人たちは、いっしょになって、ほかの地へうつっていきました。  
だってね、たぶんみんなは、おたがいに何を話しているかわからない人たちと  
いっしょにいるのが、こわくなってきたのでしょね。



かみ　ひとびと　くに　す  
このようにして、神さまは、人々がいろいろな国にわ　かれて住めるように  
ひとびと　さ　まち　よ  
なさいました。人々が去っていった町は、バベルと呼ばれました。  
い　み  
それはね、「こんらん」という意味なのですよ。



なんねん

何年かたちました。カルデアのウルというところで、神さまは、アブラム

かみ

おとこ

はな

というなまえの男の人に話しかけられました。「アブラム、

ちでい

この地を出て行きなさい。

わたし

しめ

そして私が、あなたに示

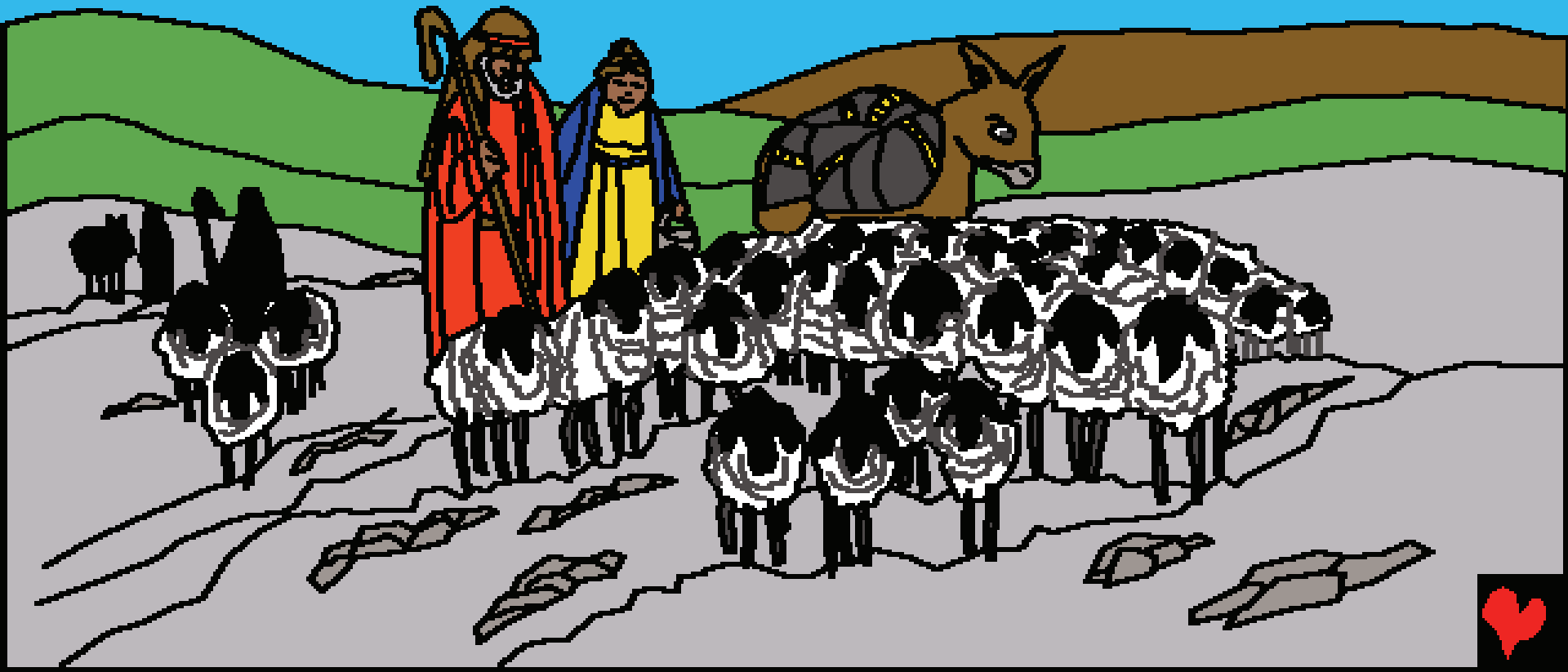
ちい

す地へ行きなさい。」





「はい、わかりました。」アブラムは、すぐしたがいました。神さまは、かれを  
カナンにつれていかれました。アブラムのつまサライと、おいのロトもいっしょ  
でしたよ。



カナンでは、アブラムもロトも、  
とてもゆたかにくらすようになりました。

かれらは、たくさんの牛の群れをうし むかっていた。

でもね、カナンにはそんなにたくさんの動物たち

たに食べさせる十じゅうぶん分くさな草がなかったのです。



ある時、ロトの牛をせわする人たちと、アブラムの牛をせわする人たちが、けんかをしてしまいました。「もうかれらが、けんかをしないようにしなければ・・・。」そう思ったアブラムは、「わたしたちは、別れようではないか。さあ、ロト、あなたが先にすきな方の土地をえらんでいいのだよ。」と言いました。



まち むら あおあお くさ よ と ち  
ロトは、町や村に青々とした草がおおいげっているとても良い土地  
と ち  
を、えらびました。その土地は ほんとうにすばらしく  
み まち  
見えました。でも、じつは、その町はひどいところでした。  
あく  
悪がはびこっていたのです。





ロトがいなくなってから、神さまは、またアブラムに話しかけられました。「アブラム、私は、カナン<sup>はな</sup>のすべての地<sup>ち</sup>を、あなたとあなたの子供<sup>こども</sup>たち<sup>こども</sup>にあげよう！いつまでもね。」でも、アブラムとサライには、子供がいなかったのです。神さまは、<sup>かみ</sup> いったいどうやって、

<sup>おお</sup>  
そんな大きなや  
くそくを、まもる  
ことができるの  
でしょうか。





かみ                      さんにん  
神さまからの三人のみつかいが、アブラムとサライのところにやってきましたよ。  
みつかいたちは、言いました。「サライ、あなたにもうすぐ赤ちゃんが、  
う  
生まれるでしょう。」





サライはわらって、

かみ

きゅうじゅつ

神さまからのことばを、しんじませんでした。だって、サライは、もう九 十さい  
になっていたのですから。神さまは、またこう言われました。「アブラムは、これ  
からアブラハム（さんび 賛美される父）とちち 呼ばれるだろう。サライはサラ（おうじょ 王女）  
とよ 呼ばれるだろう。」





かみ  
神さまは、またアブラハムに、「悪が  
ふた まち  
はびこっている二つの町、ソドムとゴ  
い  
モラをほろぼしてしまおう。」と言わ  
れました。でも、アブラハムのおいロ  
かぞく す  
トとかれの家族は、ここソドムに住  
んでいたのです。





まち

いよいよ町がほろぼされると

かみ

き、ロトは、神さまからの

しん

ちゅうこくを信じ、ソドムの

まち さ

町を去りました。けれども、

おっと

ロトのむすめの夫たちは、

まち さ

ソドムの町から去ろうとしま

せんでした。ああ、なんてか

なしいことでしょう。かれら

かみ

は、神さまからのことばをし  
んじなかったのですから。



ふたり

ただ、ロトとかれの二人のむすめたちだけ

あんぜん

安全なところに、たどりつくことができました

ひ

あく

した。ものすごい火とイオウが、悪でいっ

まち

ぱいの町を、すっぽりのみこんでしまいました

した。



かなしいことに、ロトの妻は、助かりませ  
んでした。なぜって、神さまのちゅうこくを  
聞かないで、走っているとちゅうでうしろを  
ふりかえってしまったからで  
す。ロトの妻は、塩のはしら  
になってしまったのです。



しゅ かみ  
主なる神さまは、アブラハム  
とサラのやくそくを、きちん  
とまもられましたよ。そうで  
す。かれらは、とても年を  
とっていたのですけれど、  
こ どもが生まれたのです。  
かみ い  
神さまが言われていたよ  
うにね。イサクが生まれたと  
き、アブラハムとサラは、ど  
んなにかうれしかったこと  
でしょう。



たぶん、このときアブラハ

かみ

まえ

ムは、神さまが前にアブラハムに  
言われたこと、かれと子どもたち  
にカナンの地をえいきゆうにくだ  
さるというやくそくを、思い出し  
たでしょう。神さまは、そのや  
くそくもまた、まもってく  
ださるでしょう。

かみ

そう、神さまはね、  
やくそくしたことは、  
いつもちゃんとまもってくださ  
るのですよ。



かみ  
アブラハムへの神さまのやくそく

かみ み せいしょ する  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう  
創世記 11 章 -21 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っ<sup>おも</sup>ていらっ<sup>おも</sup>しゃるのです。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっ<sup>かみ</sup>しゃいます。それを、神さま  
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをと<sup>かみ</sup>ても愛していらっ<sup>あい</sup>しゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ じゅうじかじょう な  
の世に送<sup>よ</sup>ってくださ<sup>おく</sup>いました。そしてあなたの罪のために、十字架<sup>つみ</sup>上で亡<sup>じゅうじかじょう</sup>くなられたのです。けれども  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国<sup>てんごく</sup>のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ  
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところ<sup>いま</sup>の中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ  
まといっしょに生きることが出来ますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ  
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて  
いらっ<sup>わたし</sup>しゃいます。どうか、私のところ<sup>なか</sup>の中<sup>き</sup>に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた  
らしい命<sup>いのち</sup>をいただけます。そして、いつか、あなたの所<sup>ところ</sup>へ行き、いつまでもあなたといっしょに  
いることが出来るのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることが出来ますよう、たす  
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

